

第 12 期 決 算 公 告

2026年8月25日

東京都渋谷区渋谷2丁目9番11号

インテリックス青山通ビル4F

株式会社インテリックスプロパティ

代表取締役社長 小山 俊

貸 借 対 照 表

2026年5月31日現在

株式会社インテリックスプロパティ

(単位: 千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	1,045,413	【 流 動 負 債 】	173,268
現 金 及 び 預 金	267,756	未 払 金	17,821
売 掛 金	25,279	未 払 費 用	2,162
販 売 用 不 動 産	741,648	前 受 家 賃	19,770
前 払 費 用	1,203	預 り 金	19,469
前 渡 金	4,250	1 年 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金	87,716
そ の 他	5,276	未 払 法 人 税 等	14,934
		契 約 負 債	5,000
【 固 定 資 産 】	40,130	そ の 他	6,394
(有 形 固 定 資 産)	2,526	【 固 定 負 債 】	608,248
建 物	2,526	長 期 借 入 金	545,641
(無 形 固 定 資 産)	142	預 り 保 証 金 敷 金	62,607
ソ フ ト ウ ェ ア	142	負 債 合 計	781,516
(投 資 そ の 他 の 資 産)	37,461	純 資 産 の 部	
出 資 金	130	【 株 主 資 本 】	304,027
差 入 保 証 金 敷 金	10,000	資 本 金	60,000
長 期 前 払 費 用	38	資 本 剰 余 金	40,000
繰 延 税 金 資 産	27,293	資 本 準 備 金	40,000
		利 益 剰 余 金	204,027
		そ の 他 利 益 剰 余 金	204,027
		繰 越 利 益 剰 余 金	204,027
		純 資 産 合 計	304,027
資 産 合 計	1,085,544	負 債 純 資 産 合 計	1,085,544

(当 期 純 利 益 金 額 81,035)

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

注記表

【重要な会計方針に係る事項】

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産

販売用不動産…………… 個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)によっております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産…………… 平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降取得した建物附属設備及び構築物については定額法、その他は定率法によっております。

(2) 無形固定資産…………… 自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

(3) 長期前払費用…………… 均等償却によっております。

3. 重要な収益及び費用の計上基準…………… 主に不動産管理事業を行っております。当該事業は、不動産の管理サービス等を行っており、当該契約期間において、履行が完了した部分に対する、請求する権利を有している金額で収益を認識しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理方法…………… 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

【株主資本等変動計算書に関する注記】

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| 1. 当事業年度末日における発行済株式の数 | 普通株式 2,000 株 |
| 2. 当事業年度末日における自己株式の数 | 該当事項はありません。 |
| 3. 当事業年度中に行った剰余金の配当 | 該当事項はありません。 |
| 4. 当事業年度の末日において発行している新株予約権の目的となる株式の数 | 該当事項はありません。 |

【1株当たり情報に関する注記】

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 1株当たり純資産額 | 152,013 円 100 銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 40,517 円 70 銭 |

【重要な後発事象に関する注記】

該当事項はありません。